

奈良県知事賞



濱口 莉子

この度は、奈良県知事賞という素晴らしい賞をいただくことができ、大変光栄に思います。こうして書に打ち込むことができたのは、熱心にご指導してくださった先生方をはじめ、周りの方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

この作品は、「毛公鼎」の臨書です。大学生活では様々な古典を学びましたが、その中でも金文が魅力的だと感じ、多くの時間勉強に費やしました。学生として公募展に出品できる最後の機会であり、また日本学書展も最後であるということから、受賞の知らせを聞いた時は、嬉しさと驚きの気持ちでいっぱいになりました。

今回の受賞を励みとし、これからも精進していきます。

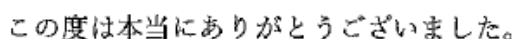
奈良市長賞

新宅 彩耶香

大哉乾元播物垂象肇有書契文籍生焉雖十翼精微陰陽之化不測九流沈與仁義之塗斯闢而勞生
蠢蠢豈厭塵門閭湛湛恒濡苦浪亦有寶經浮說錦籀寓詞駕鳳升雲驟龍棲月跡均轉縷空溺志於
邪山事比繫繩詎知方於覺路孰若訓昭金口道祕瓊箱靜彌毒於三漏採橫流於五濁是生是滅發蓮
花之音非色非空被梅檀之蘭暨乎鶴林稅軫玄宗跨生肇以遐騫退安什而曾驚可以聲融繡石采絢
實諦傳授之賓和其妙理然則紹宣神典幽贊玄宗跨生肇以遐騫退安什而曾驚可以聲融繡石采絢
雕圖則於我法師而見之矣法師諱道因俗姓侯氏濮陽人也自繞樞疑社紀雲而錫胤贊昂攜祥真川
而分緒司徒以威容之盛垂範漢朝侍中以才晤之奇飛芳晉牒衣冠繼及代有人焉祖闕齊冀州長史
父瑒隨相仁縣令茲琢磨道德砥錫文藝或題與展驥贊務於千里或享蠡製錦馳聲乎一同法師稟祐
居醇含章繼括單訂之歲粹采多奇髦猷之辰殊姿獨茂孝愛之節慈順之風率志斯在因心以極率甫
七歲丁于內艱啗粒絕榮殆乎成性成人之德見稱州里免喪之後乃發和誓而以風樹不停浮生何恃
思去騷膏之愛將酬罔極之恩便詣靈巖道場從師習誦而識韻恬爽聰晤絕羣曾不浹旬誦涅槃二衰
舉衆嗟駭以爲神童逮乎初升方蒙落髮於是砥行飭躬架德緝道篋地能晤絕羣曾不浹旬誦涅槃二衰
加勤在疑必請見義思益尋講涅槃十地洞盡幽微宿齒名流咸所歎異及受具戒復精苦若浮囊之
貞全譬圓珠之朗潔始聽律義遍訖便講辯析文理綜棟指歸十誦之端五篇之蹟寫經均美傳燈在照
又於茲城蒿論師所聽攝大乘當公懿德玄猷蘭薰月聯門徒學侶負貫彙集道曰法師碑彩耶香臨

この度は、奈良市長賞をいただき、ありがとうございます。
大変嬉しくおもいます。
今回でこの日本学書展が最終回とお聞きし、大変残念で
さみしい気持ちでいっぱいです。
この学書展に出品できる事は私のモトベーションとつながった
ふうにおもいます。
ありがとうございます。

栞原 里歩



奈良市教育委員会賞

福原 一花

善哉善哉善哉善哉善哉善哉善哉善哉善哉善哉
奉納奈良市教育委員会賞
側聞惟父惟母為之悲
之者彼無上大覺
為津為梁為之清之者
此無便善渡故者諸
隨寶嚴莊莊嚴而真嚴
姑喇仙喉是妙說而浩
說是以師你者吾愛
惟而善度善教去法
善惡而咸於大哉大悲
能得法得之矣保恒

先予之此資天人之賦
氣稟江漢之英靈若
平深測風神肅視後
四德生心之行成性昌
城玉策無及千靈函
陳金之空知三才典
以平子嘆日月之不可
想顏色之逾速昭典
世舍追若惜忍然於
觀音靈像動看刃而
策肩嘆運金彩而連
臉聞之流聚日之難

粟分滿月之乳波
花壽經松万金而重
金之指百寶之尊寶偈
龍是墨流骨互偕底
龍之芳潤筆折龍骸
作龍之與典常空
滿字向閑之度之句
大技小技普契三目之
果底嵌金之雷擊心
乘之理得依玉珠雲
披玉時之散斯拉酌
海不窮飲河能溢五

霞恒清祥風永扇
仍納盤田十二町余
莊一處畠一町溢元
看燈轉讀斜以在案
兼返福弁姓二親先
亡之教滿懷六度輝
指九結咀覺八葉八洞滋
極難二慧攬冬枝而承
陰列惟八祥平子昂
身百神斯術万福
每臻大捷係年若
石爭榮 伊都内親王願文 花信

明誠学院高等学校 1年 福原 一花

この度は、奈良市教育委員会賞という大変名誉な賞をいただき、誠に有難うございます。
受賞した作品は、《伊都内親王願文》の臨書です。この古典を初めて目にした時、自由奔放に書かれているところに惹かれました。今では強い線と一画一画に変化を持たせた線に魅力を感じており、古典の特徴でもある文字の大小や線の強弱を忠実に再現するための努力を重ね、臨書しています。

今回、このような賞をいただくことが出来たのは、指導していただいている先生方を始め多くの方々の支えがあったおかげです。今後も感謝の気持ちを忘れず、書道に取り組んでいきます。

この度は、本当に有難うございました。

奈良県議会議長賞

藪中 美里

常以正月二月甲乙之日平旦沐浴齋戒入室東向叩齒九通平坐思東方東極玉真青
帝君諱雲拘字上伯衣服如法乘青雲飛輿從青要玉女十二人下降齋室之內手執通
靈青精玉符授與地身地便服符一枚微祝曰青上帝名厥諱雲拘錦帔青帟迴虛無
上晏常陽洛景九曜下降我室授我玉符通靈致真五帝齊軀三靈翼景太玄扶輿乘龍
駕雲何慮何憂逍遙太極與天同休畢咽炁九咽止四月五月丙丁之日平旦入室南向
叩齒九通平坐思南方南極玉真赤帝君諱丹容字洞玄衣服如法乘赤雲飛輿從絳宮
玉女十二人下降齋室之內手執通靈赤精玉符授與地身地便服符一枚微祝曰赤帝
玉真厥諱丹容丹錦緋羅法服洋洋出清入玄晏景常陽迴降我廬授我丹章通靈致真
變化萬方玉女翼真五帝齊雙駕乘朱鳳遊戲太空永保五靈日月齊光畢咽炁八過止
七月八月庚辛之日平旦入室西向叩齒九通平坐思西方西極玉真白帝君諱浩庭字
素羅衣服如法乘素雲飛輿從太素玉女十二人下降齋室之內手執通靈白精玉符授
與地身地便服符一枚微祝曰白帝玉真号曰浩庭素羅飛帟羽蓋鬱青晏景

癸卯九月
美里謹啓

この度は、奈良県議会議長賞という素晴らしい賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。

私自身が大学4年生という学生最後の年に、学書展も最終回を迎えられるという、素晴らしい巡り合わせの機会となりました。小学生の頃から毎年出品させていただいており、思い入れのある展覧会が終わってしまうのは非常に名残惜しいです。この授賞作品では、その気持ちも表現したく、一字一字に心を込め、時間を掛けて仕上げました。それが、今まで15年間お世話になった展覧会での集大成となったことが、本当に嬉しいです。

この経験と感謝の気持ちを糧に、これからも一層精進して参ります。ご指導いただいた先生方、審査くださった先生方、支えてくれた家族、また、これまで携わってくださった全体的に厚く御礼申し上げます。

奈良市議会議長賞

三好 柚羽

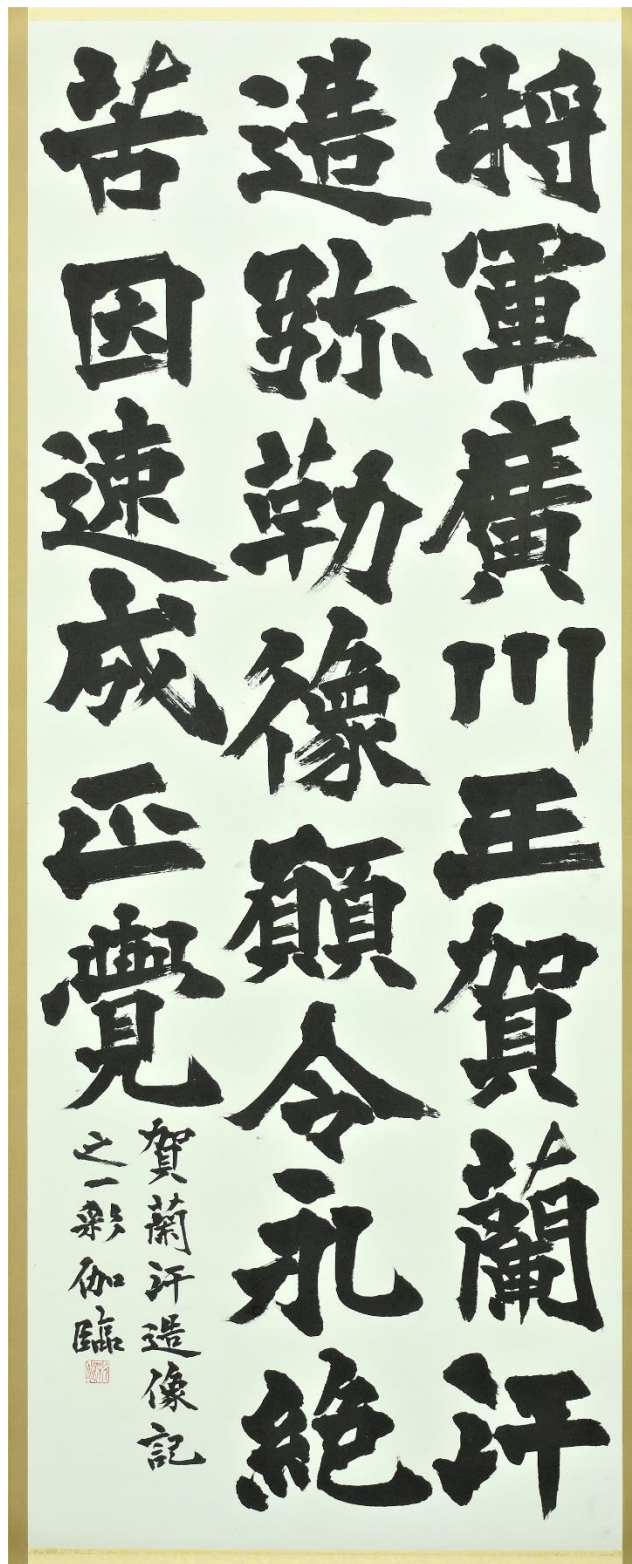
仲尼居仲尼死子居
用和睦上下無怨孝者通之也言先代聖施之至能順則上下巨人之道之要天下人心行此並要之仁和睦無怨
參不敏何足以知之參曾子名也程師有問避何足知此義
教之所由生也言教示從孝生已當全而歸
傷孝之始也父喪生之已當全而歸
也言能立身行此孝道其親故行孝以承自然名揚後世光榮毀為先揚名為後
為中忠孝遺著乃能也
者不敢惡於人也博愛也
敬親者不敢慢於人也廣敬也
喪敬盡於事袖羽臨
曾子侍曾子弟子侍
子曰先王有至德要道以順天下臣
汝知之乎曾子避席曰
夫孝德之本也人之行莫大於孝故為魂本

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。

私は、幼い頃から祖母の影響もあり、書道が大好きでした。
そして桜井高校書装コースに入学し、熱心に取り組みました。
この作品では、文字の大きさや墨の濃さ、全体のバランスに気を付け
ながら、一文字一つ長時間かけて丁寧に書きました。

苦勞することかたくさんありましたが、諦めず本当に良かったです。
私が授賞することになったのは夜遅くまでご指導下さった顧問の
先生方や部活動の仲間、応援してくれていた家族のおかげです。
本当にありがとうございました。

全国高等学校長協会会長賞



胡内 彩伽

この度は全国高等学校長協会会長賞に選出いただき、感謝の気持ちで一杯です。

受賞できたのはご指導いただいた先生のおかげです。今回、受賞させていただいた作品は、賀蘭汗造像記を臨書したものです。

以前、ある展覧会で北魏の楷書を目にした時、私は心惹かれ、この書体を始めました。

そして、この機会を通じて、造像記に更なる魅力を感じました。

今後一層精進して参りたいと思います。

この度は誠に有難うございました。

日本書芸院賞

舟盤汎俱生愛河
慧柯一飛便越

心琴
尾形

尾形 心琴

この度は、日本書芸院賞という素晴らしい賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。

私は今回、初めて王鐸の作品を臨書しました。普段書いていた作品とは違う雰囲気のものでしたので、筆使いや字形、文字の配置などに苦戦しましたが、太細の變化や字の大小、そして文字の流れを意識して作品を仕上げる事ができたので良かったです。

今回、私がこのような素晴らしい賞をいただくことができたのは、夜遅くまで指導してくださる先生や仲間の支えがあったからだと思います。これから感謝の気持ちと気持ちを日々精進していきたく思います。この度は本当にありがとうございました。

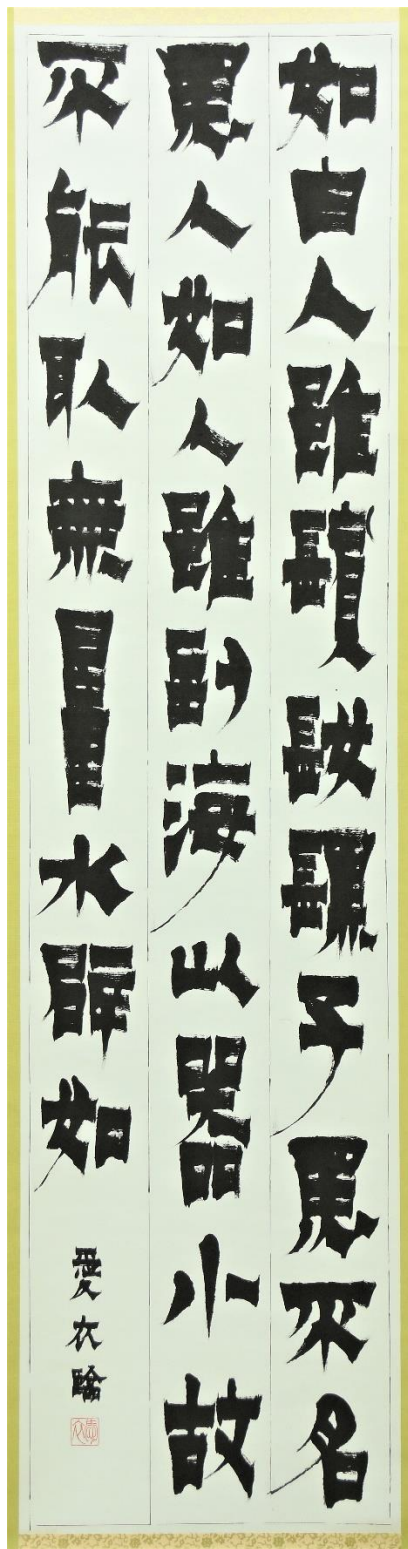
奈良県書道教育研究会賞



一色 紗羽

奈良商工会議所会頭賞

濱部 愛衣



この度は、奈良商工会議所会頭賞という素晴らしい
賞を受賞させていただき誠に有難うございます。
高校生になって挑戦した書体が最初は難しくて
何度も練習しました。
ご指導してくださった先生方、先輩方には本当に
感謝の気持ちでいっぱい입니다。
これから様々な書体に挑戦し、更に良い
作品が出来るよう、努力していきたいと思ひます。
本当にありがとうございました。

読売新聞社賞

杉山 雛

禮	地	勉	魯	司
器	幽	學	前	徒
無	讚	藝	相	臣
常	神	孔	瑛	雒
人	明	子	書	司
掌	故	伯	言	空
領	特	春	詔	臣
請	立	秋	書	弒
置	廟	制	崇	稽
百	褒	孝	聖	首
石	成	經	道	言
卒	集	冊		
史	四	述		
一	時	五		
人	來	經		
典	祠	演		
主	事	易		
守	已	繫		
廟	即	辭		
	去	經		
	廟	緯		
	有	天		

雛臨

この度は素晴らしい賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。
 ございます。

このような賞をいただくのは初めてのことで、嬉しい限りです。

「乙瑛碑」は私が書道が続けてきた中で、本当に大好きな
 古典です。初めて隷書に触れたのは半年ほど前のことで、
 隷書ならではの表現力や古典的な魅力に惹かれました。
 今回の作品では全体のバランスと一文字一文字の統一感を
 意識し、誠心誠意を尽くして書き上げました。

日本学書展は第70回が最後に行くと聞き、残念ですが、
 これからもご指導いただいた顧問の先生方へ感謝の気持ちを
 忘れず、よりよい作品を仕上げられるよう努力します。

読売テレビ賞

山 陸 卒 越 了 命 山 川 田 多 廣 缺
 魚 鱗 乙 望 元 越 乙 遠 山 陸 瀨 汨
 游 本 以 易 四 倍 祝 相 和 や 了 是 乙 望
 数 是 狹 四 是 四 倍 祝 相 和 や 了 是 乙 望
 番 三 日 菓 難 四 日 星 樟 日 本 日

楚亭書一
 凜音

福本 凜音

この度は読売テレビ賞という素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。

今回の作品は私が貴重な青春の時間を使い取り組んできた「帛書」の臨書です。がたつく机と格闘しながら先生方のご指導のおかげもあり、納得のいく作品を仕上げることができました。

今年で最後の学書展。受賞の知らせを聞いたとき、この上なく嬉しかったです。

最後にご指導下さった先生方や支えてくれた書道部の仲間たちに心より御礼申し上げます。